

都道府県名

宮 城 県

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	栗駒町立栗駒中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	4	5	1	13	25
生徒数	116	150	170	2	438	

研究の概要

1. 研究主題

生き生きと学び，確かな学力を身につける生徒の育成

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

- ・全学年・国語
全教科の基盤となる教科であるため。
- ・全学年・数学
生徒の理解の状況に差が出やすい教科であることと，TT・少人数指導の研究において，本校での研究実践が蓄積されているため。
- ・全学年・英語
生徒の理解の状況に差が出やすい教科であることと，TT指導の研究において，本校での研究実践が蓄積されているため。

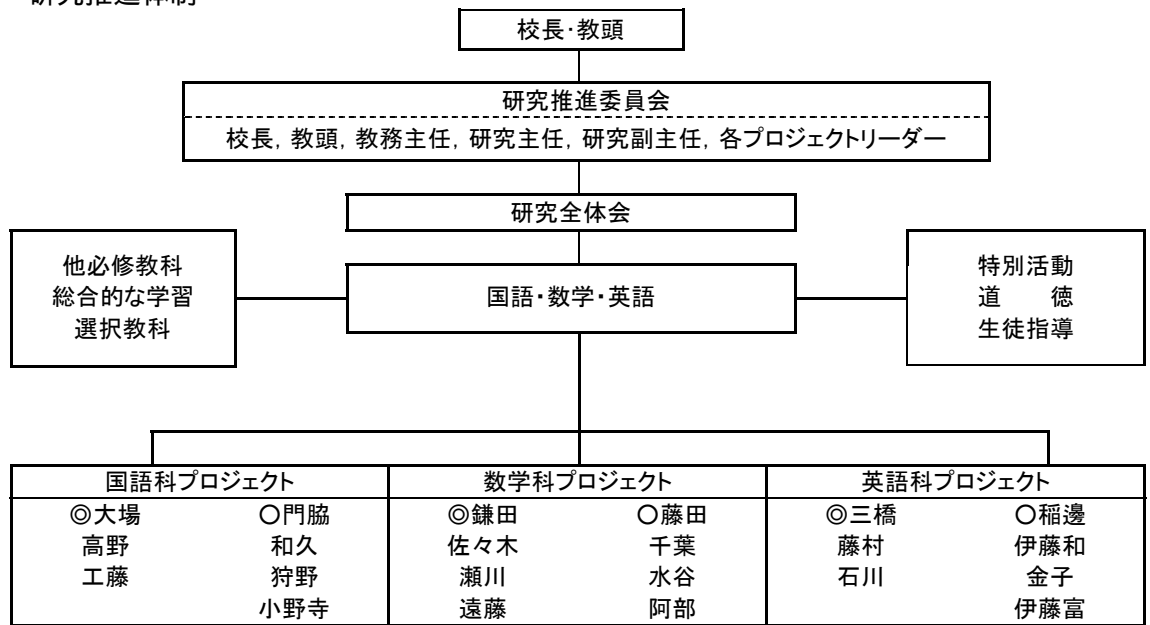
(2) 年次ごとの計画

平成 15 年度	テーマ 「生き生きと主体的に学び，確かな学力を身につける生徒の育成」 研究の見通し 次の手立てを講じていけば，生徒一人一人が主体的に学習に取り組み， 確かな学力を身につけられるだろう。
	(1) TT，少人数，習熟度別指導などの個に応じた指導方法や指導体制を工夫する。
	(2) 個々の到達度・興味関心に応じるために，ワークシートや話し合い・教え合い学習など学習内容を工夫する。
	(3) 生徒のつまづきを解消し，基礎・基本を確実に身につけられる取組を検証する。
	(4) 上記(1)～(3)を検証し，年間指導計画への位置づけを最適化する。
	研究の内容・方法
	(1) きめ細かな指導を充実させる指導体制・学習形態・学習方法・学習内容の工夫
	(2) TT・少人数指導，習熟度別学習の有効性と年間指導計画への位置づけの検証
	(3) 豆テストや小集団での単語テストによる復習と，習熟度別学習プリントの作成
	(4) 数学級検定・朝読書と授業との連携・支援
	(5) 家庭学習と家庭との連携のあり方の探究

平成 16 年度	<p>テーマ 「生き生きと主体的に学び、確かな学力を身につける生徒の育成」 研究の見通し 平成15年度の成果をふまえて検討中 研究の内容・方法 平成15年度の成果をふまえて検討中</p>
----------------	---

* 平成15年度からの新規校については、平成15、16年度の計画について記入すること。

(3) 研究推進体制



研究体制として、国語科・数学科・英語科を中心とするプロジェクト体制をとった。これは、これら3教科が全教科の基盤となるものであり、他教科の実践していることを柔軟に取り入れ、共同で進める授業づくりを目指したものである。

平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

今年度は、紆余曲折はあったものの、研究を進めていく中で、教師全員で「学力」について共通理解を図ったことにより、「生徒に身につけさせたい力」を意識した授業づくりが行われるようになってきた。また、国語・数学・英語プロジェクトによって、他教科からの多面的・多角的な視点から実践研究を進めることができたと同時に、異教科による連携を模索できたことが、大きな成果といえる。

特に数学プロジェクトにおいて、他教科教師の協力を得ながら、TT・少人数指導ができた。

少人数指導によるきめ細かな指導の蓄積から、学習に対するあきらめをもっていた生徒が、前向きな姿勢で授業に臨むようになってきた。

一斉指導においても、小集団学習により互いに教え合う姿や、思ったことや考えたことを伝え合う姿が多く見られるようになってきた。

数学級検定を取り入れることにより、どこでつまづいたかを、生徒自身が認識し、検定に合格することから生徒の学習への取り組みを向上させることができた。

教師が、GMP 記録により、上位群、中位群、下位群のそれぞれの生徒への細かい気配りを意識できるようになった。

2. 今後の課題

プロジェクトにおける，協力体制を強化する。
 少人数指導において，習熟度別指導を展開する。
 題材によって，コース別学習，T・T・少人数学習，小集団学習などの学習形態を工夫する。
 の学習形態の位置づけをより明確にする。
 小集団での話し合い活動での，意見を表さない生徒に対する評価のあり方を探る。
 数学級検定実施の合理化と授業との関連を図る。
 GMP 記録において，重点を置くポイントを共通認識する。
 時間割編成が困難で，バランス良く編成することが難しい。
 確かな学力の向上を判断するための方法を探る。
 保護者，地域への理解を深めるたよりの発行と，WEBサイトの更新。

学力把握のための学校としての取組

- * 学力検査（生徒の学力の到達度を捉えるため5月実施）
- * 生徒・保護者の実態調査（5月・1月）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- * 平成16年度 公開研究会開催予定
（10月頃，本校会場，郡内各小中学校，研究実践発表）
- * 研究成果普及のためのWebサイトへのフロンティアスクールページの追加，パンフレット作成を予定

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	14年度からの継続校		
【学校規模】	6学級以下 13～18学級 25学級以上	7～12学級 19～24学級		
【指導体制】	少人数指導 一部教科担任制	T・Tによる指導 その他		
【研究教科】	国語 外国語 保健体育	社会 音楽 その他	数学 美術	理科 技術家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有	無	